

# 2022年 シラバス

履修規定	必修課目	授業課目	理容技術理論
履修学年	1年	コース	理容科
担当教員	鞍成和恵	経歴	理容技術理論教員資格
担当教員		経歴	
授業時間数	96	授業方法及び場所	教室 実習室

## 1. 教科・科目の目標（到達目標）

- ・人の容姿を整えることに関わる技術を習得するため、技術の理論をしっかりと理解させ、職業訓練の実習を合理的に習得するための基礎を身につけさせる。
- ・修得する技術の目標を明確に定め、技術向上、さらに国家資格習得を目指す。

## 2. 学習内容

- ・教科書全般だけでなく、教科書から重点的な部分をさらに掘り下げ、現場での体験を織り交ぜながら、より理解度を深める。
- ・各章において総合学習を行い復習しながら理解させる。
- ・主に基本的な姿勢、技術を身につけさせる。
- ・各技術を身につけるため、理容技術理論で裏付けし、理解させる。

## 3. 学習方法

- ・座学だけでなく、実習室において実習形式も含め授業を進める。
- ・DVD鑑賞にて補足説明を行う。
- ・講義形式を基本とし、国家試験に向けた演習授業も適宜取り入れる。

## 4. 学習評価

- ・学習態度、出欠状況を評価する。
- ・提出物、小テストで評価する。
- ・学期末テスト（70点以上であること）

教科書	理容技術理論 1・理容技術理論 2 （日本理容美容教育センター発行） 理容実習 1・理容実習 2 （日本理容美容教育センター発行） 技術の解説（日本理容美容教育センター発行）	参考文献 副教材等	オリジナルプリント DVD（日本理容美容教育センター発行） 理容用具
-----	---	--------------	--

## 学習計画

月	学習項目	学習内容・方法
4月	理容技術と理論 人体各部の名称 基本姿勢	理容の意義、技術習得の重要性を理解させる。 人体及び頭部、顔部を形態的に理解させる。 技術姿勢の原則、トレーニングの原理
5月 6月	理容用具 用具と衛生  ヘアカッティング  ヘアデザイン	用具の種類と特徴、各部の名称について理解させる。 理容と公衆衛生との関係について理解させる。  カッティングの基本原則と姿勢（実習にて重複） 用具の持ち方と操作法の説明（実習にて重複） デザインヘアのスタイル別カットシステムの説明 ヘアスタイルの要素とデザインの関係性を理解させる。 （DVD活用） スタイルの定番と流行を時代別に説明する。
7月	シャンプーイング & リンシング 理容マッサージ	技術習得のため目的をしっかりと理解させる。 3つの方法の特徴、姿勢、長所、短所などを理解させる。 技術の順序を覚えさせトレーニング（実習にて重複） マッサージの意義と効果を理解させる。 学期末テスト
9月 10月	シェービング	肌の知識、顔の特徴を明確にとらえることを理解させる。 正確な技術の必要性を理解させる。 （DVD活用）
11月 12月	メンズシェービング レディースシェービング	フェイス・ネックシェービングの手順を覚えさせる。 肌への負担軽減法を理解させる。 学期末テスト
1月 2月	ヘアセッティング	ヘアスタイルにあったヘアセッティング方法を理解させる。 薬液や熱を使うセッティング方法を習得させる。 スタイル別のセッティングの違いを理解させる。 レディースヘアのデザインを表現する感覚と技術について理解させる。
3月	総論	学習したことのまとめ、確認 学期末テスト